厚生病院だより

すずかけ

第37号　平成24年4月27日　　発行／鳥取県立厚生病院　編集／院内広報委員会

平成２４年度の幕開けを迎えて

すさまじい被害をもたらした東日本大震災（３月１１日）から **1** 年以上経過した今も、あらゆる面で、未だ脱却・回復できていない面が多すぎて、胸の痛みが続きます。

地震は地球における地殻変動の自然な流れの１つの現象であると教えられてきました。

それでも、近い将来に予想されている日本各地での新たな別の大震災への高い可能性に対しては、ただただ頭をひれ伏して、それが軽くあってほしいと願うばかりであります。

今回は、平成 **24** 年度の上半期の病院の流れをお知らせいたします。

今後とも、あらゆる疾患への高度医療の更なる推進とともに、地域の医療機関や住民の皆様方に信頼される誠実な医療の提供に全力を尽くす所存でありますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

写真中央は厚生病院

院長　前田迪郎

厚生病院の基本理念

思いやりと優しさ、真心のこもった信頼される病院

優れた医療を提供し、地域と密着した病院

職員の和を尊び、働きがいのある病院

第37号の内容

平成24年度の幕開けを迎えて(院長あいさつ)…1
厚生病院シンボルマークの決定　…2
地域医療連携棟がオープンしました　…2
放射線治療システムの整備　…3
不妊治療への取組　…3
ストーマ外来を開設しました　…4
市民公開講座「がんと生活 『悪』習慣」開催報告　…4
平成24年度の市民公開講座のお知らせ　…5
阿藤副院長の鳥取労働局長表彰受章　…5
新任部長のあいさつ　…6
新任医師・退職者の紹介　…6
緩和ケア研修会の開催案内　…7
外来診察日程表　…8

厚生病院のシンボルマークができました

鳥取県立厚生病院のシンボルマークができました。

平成２３年４月から、病院のイメージアップ及び職員の連帯感を深めるためのシンボルマークを作成することを目的に、病院職員への公募に始まり、県デザイナー協会への募集を経て、院内各部門の職員で構成する選定委員会で選ばれた作品が、ついに特許庁に登録されました。

このシンボルマークは厚生病院の頭文字である「Ｋ」と当院前の街路樹である「すずかけ」の葉をモチーフとしています。５つに分かれた葉は、医師や看護師をはじめとした当院のスタッフが、患者様を支え、患者様と一体となって治療に取り組む様子を表現したものです。

今後は、病院で作成するいろいろな印刷物、プレゼンテーション用ソフトなどに活用いたします。

厚生病院のシンボルマーク

地域医療連携棟がオープン！

平成 24 年 2 月 20 日に地域医療連携棟が完成し、地域連携センター・がん相談支援室が 2 階に移転しました。

平成 24 年 4 月より地域連携センターに看護師が配置となり、看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士といった多職種が、相談内容に応じてスムーズに対応することが可能になりました。

今後は院内の連携を充実させ、地域の医療機関等とのより一層のネットワークの構築を目指してまいります。

また、がん患者さんの交流の場である「すずかけサロン」の部屋も一新しました。陽当たりの良い明るいスペースになりましたので、是非、ご利用ください。

(すずかけサロン開催日時：
第 1,3 火曜日 14 ～ 16 時)

地域連携センター長（副院長）
阿藤孝二郎

放射線治療システムの整備

中部地区唯一の地域がん診療連携拠点病院としての機能を高め、より高度な放射線治療に対応するため新しい放射線治療棟を建設し「放射線治療システム」の整備を進めています。平成２４年１０月に治療棟が完成し、関係省庁の厳格な審査を経た後、平成２５年３月を目途に放射線治療を開始する予定です。

新しい放射線治療システムでは、３種類の放射線エネルギーを選択できるなど、病変部の大きさや場所に応じた放射線治療を行うことが可能となります。

「切らずに治す」放射線治療の環境を整備することで、より精度の高い「がん診療の推進」に取り組みます。

治療棟工事中は、騒音や振動等で御迷惑をおかけいたしますが、皆様の御理解・御協力をいただきますようお願いいたします。

中央放射線室長　森里昭典

不妊治療への取組

当院における不妊治療の現状と展望

不妊治療は、より自然妊娠に近い形で治療していく「ステップアップ法」、すなわち、①排卵誘発を併用したタイミング療法、②人工授精(AIH)、③体外受精や顕微授精などの高度生殖補助医療(ART)へとステップアップしながら進めていくというのが原則です。

当院では、従来よりセカンドステップの AIH までの治療は可能でしたが、今般その AIH 療法の精度向上のために、

1　中央検査室技師により精子密度勾配遠心用培地（アイソレイト 2 層法キット：Irivne）を用いた精子洗浄濃縮処置（2011 年 12 月より実施。2012 年 1 月より本格稼働）

2　卵巣ホルモン動態をリアルタイムで掌握するために、従来は外注検査であった卵巣ホルモン（エストロゲン、プロゲステロン）値を院内測定可能とした（2012 年 1 月より試験的に測定，2012 年 2 月より本格測定）

3　従来、目視で行っていた精子検査を精子特性分析機 SQA-V を導入（2012 年 2 月）し、精子運動速度などをコンピュータ解析ができるようになりました。

さらに、2012 年度には看護局より不妊認定看護師取得の計画があります。

将来的には、卵子や精子を専門に取り扱う胚培養士の育成が必要となりましょうし、産婦人科医の増員も不可欠です。

然る後、ART が実現可能なスタッフが揃い、採卵施設や培養施設の周辺環境が整いましたら、高度生殖医療 ART 実施施設認定を目指したいと思います。

産婦人科部長　大野原良昌

精子特性分析機SQA-V

ストーマ外来を開設しました

この４月からストーマ（人工肛門・人工膀胱）をお持ちの皆様が、ストーマや皮膚のケア、その他の様々な悩み事のご相談をお受けできる『ストーマ外来』を開設しました。

ストーマに関することでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。他の病院で手術を受けられた方もお気軽にお問い合わせください。

ストーマ外来では、皮膚・排泄ケア認定看護師の研修を終了した看護師が担当いたします。

ストーマ外来の内容は次のとおりです。

・手術前ケア（ストーマの説明、ストーマサイトマーキング）
・退院後の定期受診、体型・生活の変化に応じたストーマケア
・ストーマトラブルや皮膚トラブルの解決
・生活指導
・ストーマ装具の紹介（新製品の情報）

小児科外来の隣です

日時：毎週水曜日　午後外来診療時間内（１３：００～１６：００）
（予約制）
場所：外来２階　多目的診察室（小児科外来隣）
お問い合わせ先：電話番号０８５８－２２－８１８１(代)
（内線２００８）
消化器外科外来まで

市民公開講座
「がんと生活『悪』習慣」を開催しました

平成２４年１月２１日（土）倉吉交流プラザにおきまして、「がんと生活『悪』習慣」のタイトルで市民講座を開催しました。

がんの発生率を高める生活習慣とその予防について、厚生病院の医師３名が講演させていただきました。

皆さんの生活習慣を見直していただくきっかけとなり、少しでもがんになる方が減少すればと思います。

当日のステージにて

【講演の概要】

①「がんの発生と生活習慣」　内科部長　佐藤徹

がんと生活習慣について、国立がん研究センターのがん情報サービスに示されている、日本人が実行に値する現時点で推奨できるとされている日本人のためのがん予防法を紹介することを中心にお話させていただきました。

②「がんと糖尿病・肥満」　内科副医長　村脇あゆみ

肥満対策は、適度な食事と運動などにより身体の脂肪を減らす（増やさない）ことに努めることが大切です。どのような食事療法、運動療法がよいのか一緒に考えてみました。

③「肝がんとアルコール・脂肪肝」　消化器内科副医長　永原天和

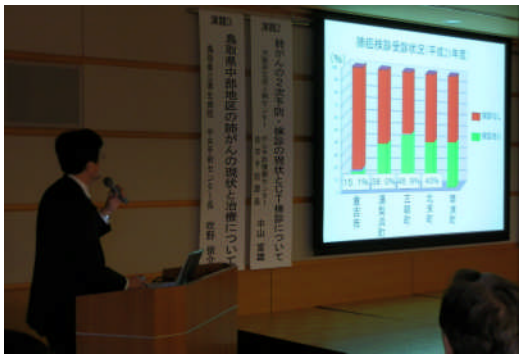
肝臓は「沈黙の臓器」とも言われ、自覚症状が出にくく、症状が出たときにはかなり病状が進行してしまっているという事例が少なくありません。アルコールを控えめ（適度）にすることはもちろん、栄養の摂りすぎも控え、適度に運動することで肝臓をいたわりましょう。

医療局長　秋藤洋一

平成２４年度市民公開講座のお知らせ

今年度に開催します、がんに関する市民公開講座は、厚生病院の専門医師による講演を中心に行う予定です。

日程内容は以下のとおりです。



昨年の「肺がんの予防と現状」の講演風景

平成２４年６月２４日（日）「女性のがん」
（会場：倉吉交流プラザ視聴覚ホール）
1　子宮癌について　―大野原良昌産婦人科部長
2　卵巣癌について　―門脇浩司産婦人科医長
3　乳がんの診断と治療について　―田中裕子外科医師

平成２４年９月９日（日）「肺がん」
（会場：倉吉交流プラザ視聴覚ホール）
1　肺癌の診断と化学療法について
　　―山本芳麿呼吸器内科部長
2　肺癌の手術について　―吹野俊介中央手術センター長
3　肺癌を克服した患者さんの体験談

平成２５年１月下旬「生活習慣病」
（講演者：内科医師）

以上を予定しています。１ヶ月以上前には広報しますので、たくさんの住民の方が参加してくださることを期待しています。

中央手術センター長　吹野俊介

阿藤副院長　厚生労働省労働基準局長表彰を受章

表彰を受ける阿藤副院長（右）

鳥取労働局地方労災医員として１０年以上の長きにわたり、的確な労災認定の審査に当たられた功績が認められ、阿藤副院長が厚生労働省労働基準局長表彰を受章されました。

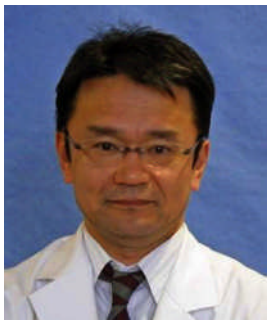
昨年１２月９日には、鳥取労働局の大路労働基準部長より表彰の伝達があり、神妙な面持ちながらも栄えある受章に時折笑顔がみえる阿藤副院長でした。

事業活動の上で不可欠な仕組みである労働災害認定を当院の医師がしっかり下支えしていることは当院の誇りに思うところです。

阿藤副院長、受章おめでとうございました。

新任部長からご挨拶

消化器外科部長　　西江　浩



この度、消化器外科部長を拝命いたしました西江でございます。

３年前の当院における「消化器外科立ち上げ」以降、岸消化器外科部長と、西江、岩本の３人でがむしゃらに頑張ってまいりました。

この度、岸前部長が定年を待たずして勇退されることになり、私が後任の部長に指名されました。

偉大な先輩の後を引き継ぐのは大変なことでありますし、私をはじめ若輩者の集団となってしまいました。

しかしながら、西江、岩本、荒井、下田の 4 人体制で協力し合い、一致団結してよりよい消化器外科を目指して頑張る所存であります。

皆様方には、前体制にも増して、更なるご指導ご鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げる次第であります。

不整脈内科部長　矢野暁生

はじめまして、矢野暁生と申します。

この度から中部地区での循環器診療の一端を担わせていただくこととなりました。

私事、これまでは大学病院在職中を含め諸先輩方の御理解もあって循環器分野(臨床不整脈領域を主に循環器内科全般)で研鑽、診療・研究等に従事させていただいておりました。

具体的には、各種不整脈に対する薬物治療、カテーテルを用いた病態評価や治療(電気生理学検査、心筋焼灼術)、植込み型心臓デバイスを用いた治療(ペースメーカ、植込み型除細動器、ペーシングによる心臓再同期療法)等が中心です。

もちろんこれらの中には大学病院等でしか行えないものも含まれており、また私自身少ない経験でもありますが、今後はなんとかこの地域の循環器診療の質のさらなる向上に寄与していければと考えております。

どうぞよろしくお願い致します。

新任医師を紹介します

よろしくお願いします

麻酔科
原田 知実（医長）
1月1日着任

消化器外科
荒井 陽介（医師）
1月1日着任

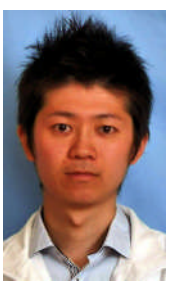
不整脈内科
矢野 暁生（部長）
4月1日着任

泌尿器科
小林 直人（医長）
4月1日着任

放射線科
遠藤 雅之（副医長）
4月1日着任

消化器内科
山本 宗平（医師）
4月1日着任

外科
窪内 康晃（医師）
4月1日着任



異動・退職者

お世話になりました。

12月31日付

医師
- 消化器内科　北村　厚
- 外科　大月　優貴
- 麻酔科　高橋　俊作

3月31日付

医師
- 消化器外科　岸　清志
- 泌尿器科　村岡　邦康
- 循環器内科　森　正剛
- 放射線科　河合　剛
- 消化器内科　斧山　巧
- 外科　岸本　諭
- 研修医　中山　明香里

長期勤続退職者

看護局
- 礒江　秋恵
- 武内　美代子
- 和田　裕美
- 徳野　妙子
- 西川　さち子

緩和ケア研修会の開催のご案内

当院は地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、がん医療に携わる医療従事者を対象に早期診断や緩和ケア等の研修を行う責務を持っています。

平成 24 年度の緩和ケア研修会は 7 月 21 日(土)、22 日(日)に開催いたします。質の高い緩和ケアを『いつでも、どこでも、適切に』提供できるよう、緩和ケアの基本的な知識・技術を習得するプログラムになっております。講義をはじめ、グループワーク、ロールプレイなど有意義な研修になるものと考えておりますので、多くの参加をお待ちしております。

昨年の緩和ケア研修会風景

※本研修は、医師が対象ではありますが、看護師の参加も受け付けております。
問合わせ先：地域連携センター・がん相談支援室

当院では、職員の資質向上、緊急時の対応など、年間を通じて様々な研修や訓練の実施・参加をしております。その様子を一部紹介します。

「がん化学療法患者の栄養管理」（平成２３年１１月１６日）

がんの化学療法は、手術、放射線療法と並んでがん診療の重要な役割を果たしており、最近の化学療法の進歩は、患者の予後を大きく改善させてきました。一方で、その副作用による患者の苦痛は未だ大きく、化学療法の遂行を妨げる要因となっています。そこで当院においては、がん化学療法患者の栄養管理の観点から、化学療法の現状と問題点をさぐる講演会を当院のがん化学療法看護認定看護師及び栄養管理室長を講師として開催しました。

病院概要

名　称
鳥取県立厚生病院

所在地/連絡先
〒682-0804
鳥取県倉吉市東昭和町150番地
TEL　0858-22-8181（代）
FAX　0858-22-1350（代）
HP　http://www.pref.tottori.jp/kouseibyouin/

診療時間
午前 8時 30分から午後 5時まで
予約制（再来患者の希望者）もあります

診療科目等
内科　呼吸器内科　消化器内科
循環器内科　脳神経内科　不整脈内科
外科　消化器外科　心臓血管外科
脳神経外科　整形外科
精神科　小児科　皮膚科　泌尿器科
産婦人科　眼科　耳鼻いんこう科
リハビリテーション科　放射線科　麻酔科

受付時間
☆ 新患：平日　午前8時30分から11時まで
☆ 再来：平日　午前7時30分から11時まで
☆ 救急患者は、土曜日、日曜日、祝日、平日時間外も受付けます

鳥取県立厚生病院

外来診察日程表

平成２４年５月１日以降

科名／曜日		月	火	水	木	金	土
内科	新患１＊	秋藤　洋一	永原　天和	佐藤　　徹	秋藤　洋一	野口　直哉	休診
	新患２＊	村脇あゆみ	岩垣　尚史	万代　真理	交代	山本　宗平	
	再診１	佐藤　　徹	秋藤　洋一	村脇あゆみ （糖尿病・内分泌）		PM　山本　了 （腎臓内科）	
	再診２		山本　　了 （腎臓内科）				
	再診３		松澤和彦（鳥大） （糖尿病・内分泌）				
消化器内科再診		万代　真理 （肝臓）	野口　直哉 （消化器）	山本　宗平 （消化器）	万代　真理 （肝臓）	永原　天和 （肝臓）	
呼吸器内科		岩垣　尚史		山本　芳麿 （呼吸器・再診）	山本　芳麿	岩垣（第1, 3, 5週）／山本（第2, 4週） （肺癌検診・再診）	
精神科			ＡＭ　植田　俊幸 （予約のみ）		植田　俊幸 （予約のみ）		
脳神経内科		土井　浩二		土井　浩二		土井　浩二	
循環器内科		澤口　正彦	柳原　清孝 （鳥大）	澤口　正彦	衣笠　良治 （鳥大）	矢野　暁生	
		矢野　暁生 （再診）					
小児科	一診	ＡＭ　岡田　隆好 ＰＭ　奈良井　栄	後藤　保 （13:30～14:00は一ヶ月健診）	奈良井　栄	岡田　隆好 （13:30～14:00は一ヶ月健診）	奈良井　栄	
	二診	ＡＭ　後藤　保 ＰＭ　ＢＣＧ接種(注１)	ＰＭ　予防接種(注１)	ＡＭ　洲崎　一郎 （脳小外来）(注意２)	ＡＭ　洲崎　一郎 （脳小外来）(注意２)	後藤　保 （健診あり） ＰＭ　乳児健診(注５)	
	三診	ＰＭ前垣義弘（鳥大）脳小外来（注３）		ＰＭ　予防接種 （注１）	花木啓一（鳥大） 内分泌外来(注４)	ＰＭ　予防接種 （注１）	
外科	一診	田中　裕子	吹野　俊介 （呼吸器・一般外科）	田中　裕子	吹野　俊介 （呼吸器・一般外科・乳腺）	吹野　俊介 （呼吸器・一般外科・乳腺）	
	二診	児玉　渉 （一般外科・乳腺）	浜崎　尚文 （　心臓血管　）	窪内　康晃	浜崎　尚文 （　心臓血管　）	児玉　渉 （一般外科・乳腺）	
	三診					第１・第３金曜日 西村元延（鳥大）	
消化器外科		西江　浩	西江／岩本／荒井／下田	岩本　明美	下田　竜吾	荒井　陽介	
整形外科	一診		阿藤孝二郎		阿藤孝二郎		
	二診	西原彰彦（１０時まで）		西原　彰彦		能勢　道也	
	三診	能勢　道也	橋本　達宏	能勢　道也	西原　彰彦	橋本　達宏	
脳神経外科	一診	紙谷　秀規	谷浦晴二郎	第２・４水曜日 赤塚啓一／石橋美名子 （鳥大）	紙谷　秀規	谷浦晴二郎	
	二診	谷浦晴二郎 （予約診）	紙谷　秀規 （予約診）		谷浦晴二郎 （予約診）	紙谷　秀規 （予約診）	
皮膚科				塩見　達志 （鳥大）			
泌尿器科		小林　直人	ＡＭ　日向信之 （鳥大）	小林　直人	小林　直人	小林　直人	
産婦人科	一診（婦人科）	門脇　浩司	大野原良昌	周防　加奈	門脇　浩司	大野原良昌	
	二診（産科）	大野原良昌	門脇　浩司	澤住　和秀	周防　加奈	周防　加奈	
	不妊外来	○	○	○	○	○	
助産師外来	午前	○	○	○	○	○	
	午後	○	○	母乳外来	母乳外来	母乳外来	
眼科			山本由紀美 （鳥大）			三間由美子 （鳥大）	
耳鼻いんこう科		橋本　好充	橋本　好充	橋本　好充	橋本　好充	橋本　好充	
放射線科	一診	橋本　政幸	橋本　政幸	橋本　政幸	橋本　政幸	橋本　政幸	
	大学応援	山本　修一	高杉　修一			道本　幸一	
動脈硬化外来					ＰＭ　浜崎尚文	ＰＭ　澤口正彦	
緩和ケア外来				ＰＭ（15:00～16:00） 岩垣　尚史			
禁煙外来			ＰＭ（14:00～15:00） 秋藤／吹野				
ストーマ外来				水曜ＰＭのみ			

＊ 原則，内科，消化器内科の紹介は内科１、内科２におねがいします。

（注１）月曜日のＢＣＧ接種、火曜日・金曜日の予防注射は午後からです。予約が必要です。

（注２）水曜日・木曜日の脳神経小児外来は予約が必要です。なお、第１木曜日は休診になります。

（注３）月曜日の脳神経小児外来は第１月曜日の午後です。予約が必要です。

（注４）木曜日の内分泌外来は月２回です。予約が必要です。

（注５）金曜日の乳児健診は１３時３０分から受付、１４時開始です。

◎診療時間 ８時３０分から１７時まで

◎受付時間 ☆新患　　８時３０分から１１時まで

☆再来　　７時３０分から１１時まで（自動再来受付機）

☆土曜日、日曜日、祝日、平日時間外も救急患者は受付します。